

令和2年6月10日

保護者様

須賀川市立第二小学校長 正木 義輝

各教科等において「感染症対策を講じたとしてもなお感染リスクが高い学習活動」への対応につて

本校の教育活動への深いご理解とご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、文部科学省から、「学校における新型コロナウイルスの感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(R2.5.22)」が出され、その中で、「地域の感染レベルの基準」や「感染レベルに応じた学校の行動基準」が示されました。

また、「感染リスクが高い学習活動例」と地域レベルによる「感染リスクが高い学習活動への対応」も示されました。

これを受け、福島県教育委員会は、本県の感染レベルを「レベル1」としました。また、「福島県学校再開指針」(R2.5.15)において、「感染リスクが高い学習活動は当分の間は行わない。」としていたことを継続し、学校再開1ヶ月後を目途として改めて通知するとしました。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動(自由意志の活動)
レベル1	1mを目安に <u>学級内で最大限の間隔</u> をとること。	十分な感染対策を行った上で実施する。	十分な感染対策を行った上で実施する。

地域レベルによる「感染リスクが高い学習活動への対応」

地域の感染レベル	実施基準
レベル1	可能な限り感染症対策を行った上で実施することを検討する。

本校としては、文部科学省の基準や県教育委員会の考え方にに基づき、学習における活動の必要性や感染リスクの高さ、さらに、現在の児童の「ソーシャル・ディスタンス」の現状等から検討し、「感染リスクが高い学習活動例への対応」を以下のようにしたいと考えております。ご理解をお願いします。

「須賀川二小としての「感染リスクが高い学習活例への対応」

教科	文部科学省が示した活動例	本校としての対応
全般	児童が長時間、近距離で対面形式となるグループ活動	○できる限り距離を取り、15分以内のグループ活動を行う。
	近距離で一斉に大きな声で話す活動	●当分の間行わない。
理科	児童同士が、近距離で活動する実験や観察	○できる限り距離を取り行う。
音楽	室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏	○「合唱」はできる限り距離を取りマスクをして行う。 ●リコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏は当分の間行わない。
図工	児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動	○できる限り距離を取り行う。
家庭	児童同士が近距離で活動する調理実習	●当分の間行わない。
体育	児童が密集する運動	○できる限り距離を取り行う。
	近距離で組み合ったり接触したりする運動	●当分の間行わない。

※ 上記の学習活動を行う際は、「密閉」を避け、「3密」が重ならない場面を作るために最大限の努力をします。

※ 「ソーシャル・ディスタンス」を身に付けさせるために

- 児童に「ソーシャル・ディスタンス」を意識することの大切さを理解させる指導を、根気強く続けます。
- 児童に「ソーシャル・ディスタンス」を意識させる、環境づくりをします。
- 教師自身が、学校生活や教科指導の中で、児童の「密集」「密接」を避ける指導を意識し、繰り返し実践していきます。